

おさむファミリーの健口教室で学ぼう 専門家向けセミナー

## 「奥住先生と S-R Touch Oral を学ぼう」

### 「S-R Touch Oral 1Day コース in 沖縄」

2019年の最初の特別企画は、言語口腔機能をテーマに、全国引っ張りだこの奥住啓祐先生。そっと、タッチすると、動かしているのではないのに、皮膚が筋肉が動き出す。

「S」は Stimulation 刺激、「R」は Respons 反応。刺激に対する反応から動きを引き出し、評価し、より効率的な動きを引き出すタッチ、口腔へのバージョンの一日セミナーです。赤ちゃん、お子さんだけでなく、成人から高齢者、脳血管疾患、進行性疾患の方、音楽家のかたへのアプローチも可能です。

口の発達、言葉の発達、機能に関係する、歯科医師、歯科衛生士、言語聴覚士さんだけでなく、医師、助産師、保健師、看護師、作業療法士、理学療法士、保育士、栄養士のかたにもお勧めです。今回は、国家資格のある、専門職の方対象とさせていただきます。

日時 2019年4月7日(日) 9時30分受付 10時～16時

場所 P's SQUARE ピーズスクエア 会議室 浦添市西原2-4-1 0988713801

参加費 18000円(税別) 19440円(税込み) めえみちのおにぎり2個付き 20000円(税込み)、  
(事前振込、又はおさむ受付窓口)

当日は、動きやすい服装 筆記用具 水をお持ちください

申し込みは、

FBページ(おさむファミリーの健口教室で学ぼう)メッセージまたはLINE@osamufamilyへ

おさむファミリー歯科クリニック までメールまたはお電話で

メール [osamufamilydental@gmail.com](mailto:osamufamilydental@gmail.com)、電話予約 098-894-0001

振込先 ゆうちょ銀行 記号15490-2 番号16290271 店名 五四八 普通 1629027 島袋郁子

入金確認をもって、申し込み完了とさせていただきます。

申し込み時は、お名前、ご住所、ご職業、年齢、当日連絡可能な連絡先、弁当希望の有無をお知らせください。

#### 【奥住啓祐先生のプロフィール】

言語聴覚士 SEO財団福祉サービス評価機構 課長、福岡在住

大学の時に、口蓋化構音が見つかり、試行錯誤しながら克服。口腔外からの舌調整法や、touchを通して口腔顔面の持つ可能性を探究しています。特技は、瞬間発音調整、楽器演奏時の舌の動きの瞬間調整。

健康推進課にて、疾病予防に関する活動、研究を行いながら、訪問看護ステーションやデイサービスでのSTリハを行っている、全国STセミナーの講師としても、助産師と連携して、歯科クリニックでの赤ちゃんや、子どもたちへのセッションも行っている。

当日 12時から13時 ランチタイムに、情報交換会を行います(希望者のみ)

希望される方は、お弁当持参またはおにぎり弁当希望の旨申込時にお伝えください。

裏面に、詳細があります

人によって歩き方が様々であるように、私たちが特に意識することなく行っている発音の仕方、食べ方も人によって、その活動をどのように行っているのかという「動きの質（戦略）」は異なります。例えば日本語の母音「い」と「え」。2つの母音を「いえいえいえいえ」と発音する際、「い」と「え」どちらの音を発音する時に舌の位置がより前にありますか。書籍などでは「い」「え」「あ」の順番で舌の位置は後方へ移動するとありますが、意外と「え」「い」「あ」という順番で舌の位置が前方から後方へ移動する方も多いです。

母音レベルでも舌の使い方にバラツキがあるのです。

もともと舌をどの様にして発音するのか習って話すことを赤ちゃんの時に習得するわけではないので戦略にバラツキがあるのは当然なのですが、

食べる際、話す際に理想的な口腔の筋の使い方から大きく異なる戦略をされている方の場合、特に病気をしたわけではなくても、発音のしにくさ、声がかすれる、むせやすい、錠剤がのみにくいなどの食べること、話すことに関わる悩みを持っている方もいます。

多くは「年のせい？」と思われがちですが、そもそもの口腔の筋の効率の良い使い方を再学習すると上記のような悩みは解決する場合があります。

S-R touch では日ごろ無意識に行っている活動において、その動きの質へアプローチしていきます。

私自身、S-R touch を

赤ちゃんや子どもさんへのケア

成人～高齢者の方の口腔へのアプローチ

脳血管疾患や進行性疾患などの方へのアプローチ

楽器演奏者の口腔へのアプローチ

など様々な方へ応用しています。

食べること、話すことの両方を支える舌や口唇。

それらの活動場面における無意識の戦略を、

touch を通して再学習を促すアプローチができるよう、

基本的な考え方についての講義と実技を中心に進めていきます。

内容・食べる、話すときの戦略の個人差を知る。

- ・ S-R touch level. I ～II の考え方の基礎と実践。
- ・ S-R touch の口腔への応用。舌の無意識の戦略を評価する。
- ・ S-R touch の口腔への応用。口腔外から舌へアプローチ。
- ・ S-R touch の口腔への応用。舌へ直接触れるアプローチ。
- ・ S-R touch の口腔への応用。上顎粘膜への口腔内外からのアプローチ。